

岡 田 宮

(宝永4年) 1707年 貝原益軒書

第40号

平成17年11月吉日
発行 岡田宮社務所
北九州市八幡西区岡田町1番1号
郵便番号 806-0033
電話 (093) 621-1898
FAX (093) 621-5330

日本は祭りの国

やおよろずのかみ

八百万神といわれるように、多くの神さまが神社にお祀りされています。また、そうした神さまを日本人は各家庭でも神棚にお祀りしてきました。私たちの信仰は、日々の生活のなかで育まれ、地域の人々の祈りや信仰によって神社が創建され、お祭りが行われてきました。敬神生活という言葉があるように、日常の生活のなかに神々を敬う心があり、お祭りを節目とする生活が、日本人の心情や国民性を育んできたともいえます。

私たちは、挨拶のなかで「おかげさまで」という表現をよく使います。日本人の生活感を最もよく表わした言葉といえます。自然の恵み、永い歳月をかけて培われた歴史や伝統の恩恵のなかで生き、多くの人々の営みに支えられながら存在しているという実感を、こうしたごく短い言葉のなかで表現してきました。そして恩恵に対する感謝の気持ち、豊かな生活への祈りをお祭りに込めてきたのです。



第11回 岡田神社書道展



岡田宮員
 小2 古賀 尚人
 小3 櫻井 永祥
 小4 安西 萌木
 小5 森賀 博植
 小6 勇 佑多
 中1 南 有紀
 中2 黄葉あゆみ
 中3 原野 鏡子

総代会長員
 小1 長松軒美奈
 小2 古橋 尊子
 小3 茂司重製紗
 小4 松浦 功将
 小5 天野真佑里
 小6 茂司 卓治
 中2 今西 陽香
 中3 鎌手 萌

●会期
 平成17年7月23日(土)
 ～7月29日(金)
 ●表彰式
 平成17年7月29日(金)
 於 岡田宮本殿
 ●総出品点数 七三〇点

- 特選
- 小1 上野美代子
 - 小2 原田 一心
 - 池田 由依
 - 古賀しようま
 - 眞崎 茜
 - 安藤 りさ
 - 広水 桃花
 - 中村 健人
 - 井口 睡
 - 藤田 雄太
 - 大庭ほのか
 - 北川 桜
 - 遠山 颯希
 - 松田 瑞希
 - 幸 優
 - 北橋 里帆
 - 讚井 直之
 - 梅田あゆみ
- 小3
- 河本 理砂
 - 山本奈央子
 - 甲斐 瑞希
 - 大地 大地
 - 末吉 優奈
 - 池田 菜々
 - 中村理佐子
 - 平田はるな
 - 益本 大地
 - 黄葉 綾子
 - 丹後 美幸
 - 川原実沙希
 - 池田 水実
 - 平岩夕希奈
 - 砂田 涼可
 - 三谷 紫帆
 - 深田 結香
 - 吉田 愛花
 - 拓人
- 小5
- 芹田 侑美
 - 遠藤 智樹
 - 藤田 夏美
 - 筒井 香歩
 - 上野 航
 - 太田 琴菜
 - 能美恵里奈
 - 李 南垣
 - 讚井 志織
 - 山田紗耶香
 - 木村鷹太郎
 - 古見 佑伎
 - 香川真裕子
 - 森賀 千晶
 - 佐藤 亘将
 - 池田 祥子
 - 鶴岡 大紀
 - 碓 拓也
- 小6
- 山口 茂樹
 - 中村 心
 - 大山百合子
 - 大島みなみ
 - 重藤あやめ
 - 林田 奈々
 - 日高 真子
 - 古賀 拓也
 - 戸塚あゆみ
 - 花田 沙帆
 - 安藤 早紀
 - 香川奈津実
 - 守水 彩夏
 - 篠原 武史
 - 高橋めぐみ
 - 木村 優里
 - 山鹿 千紘
 - 水吉 善和
 - 村瀬百々子



郷土地名考

前田町 (まえだ)

一五八七年(天正十五)豊臣秀吉が島津を討つたいわゆる九州征伐に、加賀百万石の前田利家が従軍、布陣したのが地名の起りといわれる。

前田八幡宮あたりが陣地だったという言い伝えた。しかし、従軍したのは利家ではなく子の利長だった。

前田利家は、秀吉の五大老の一人で家格は家康よりも上だったが、秀吉の没後家康と対立、豊臣家の存続に力を尽くしたものの病死、豊家の没落を早めた。利長は家康から睨まれ、二心のない証に母親を人質に差し出したり、自分は阿呆の真似をしたりにして家禄の安泰を図ったのが有名だ。



神社 なぜ 問 答

(その40)



参道の狛犬(こまいぬ)などについて教えて下さい。

神社にお参りすると参道の両脇に一对で置かれた石製の狛犬を見かけます。神社境内のことを語る

寺院でも稀に置かれることがあり、東大寺南大門のものが石製として

狛犬の表情は神社、あるいは地域によって実に多様です。各地の



編集部より

神道についての素朴な疑問等を募集しております。神社本庁教学研究部の強力でお答えします。

御質問は紙面の都合上、基礎的な質問に限らせていただきます。質問者名等は掲載いたしません。御連絡先は忘れずにお願います。

平成十八年の厄年

厄年(男)

- 二十四才 前厄 昭和五十八年生
二十五才 大厄 五十七年生
二十六才 後厄 五十六年生
四十一才 前厄 四十一年生
四十二才 大厄 四十年生
四十三才 後厄 三十九年生
六十才 前厄 二十二年生
六十一才 大厄 二十一年生
六十二才 後厄 二十年生

厄年(女)

- 十八才 前厄 昭和六十四年生
十九才 大厄 六十三年生
二十才 後厄 六十二年生
三十二才 前厄 五十年生
三十三才 大厄 四十九年生
三十四才 後厄 四十八年生
三十六才 前厄 四十六年生
三十七才 大厄 四十五年生
三十八才 後厄 四十四年生

◆厄年大祭 二月節分日

年末年始の行事案内

●大祓式

十二月三十一日

大祓とは、半年間の罪穢を祓い、清々しい心となつて各自の勤めに励み一家の幸福を増進せんとする意義深い行事です。

形式に住所、氏名、年令を書き身体をなで息を二度吹き掛け初穂料(お思召し)と共に袋に納めて十二月三十一日までにて町内の神社総代か岡田宮社務所迄お届け下さい。

●歳旦祭

一月一日

新しい年をお祝いし、今年も良い年であるようにとお願ひする神事。午前0時より、恒例の「福餅」を先着順で五百個配ります。

●開運福引き

一月一日〜三日

一枚五百円でハズレなし。

一等はカラーTV、羽根ぶとなどが当ります。新年の運だめしにどうぞ。

●どんど焼祭 一月十五日(日)

古くなったメ縄、門松等を焼納する神事。

地元の有志による餅つき、餅まき、黒崎祇園太鼓、神酒接待、ぜんざい等の諸行事が午前中に奉納されます。

新お守り紹介

病気平癒御守り 一〇〇〇円



招福まもり

五〇〇円



平成十八年度 算賀の年祝

遠暦	六十一才
古稀	七十才
喜寿	七十七才
傘寿	八十才
米寿	八十八才
卒寿	九十才
白寿	九十九才
昭和二十一年生	六十才
昭和二十二年生	六十一才
昭和二十三年生	六十二才
昭和二十四年生	六十三才
昭和二十五年生	六十四才
昭和二十六年生	六十五才
昭和二十七年生	六十六才
昭和二十八年生	六十七才
昭和二十九年生	六十八才
昭和三十年生	六十九才
昭和三十一年生	七十才
昭和三十二年生	七十一才
昭和三十三年生	七十二才
昭和三十四年生	七十三才
昭和三十五年生	七十四才
昭和三十六年生	七十五才
昭和三十七年生	七十六才
昭和三十八年生	七十七才
昭和三十九年生	七十八才
昭和四十年生	七十九才
昭和四十一年生	八十才

健康長寿のお守り

お祓いを受けた方に差し上げております。



神前結婚プラン

200,000円

(税込み)

挙式料・写真3ポーズ 2冊

(御一人・御二人・集合)

美容・着付け・衣裳

(かつら・かんざし・紋付・白無垢)

- お写真は、六切り(16cm×22cm)です。
- ポーズ追加料金……1ポーズ ¥ 9,450
- 焼き増し料金……1枚 ¥ 5,250
- 色打掛・洋装追加プランもございます。

(株) 有川 写真館

☎ 0120-62-2080